

## グループ討議結果報告書

私たち（名）は、アメリカの原子爆弾開発計画（マンハッタン・プロジェクト）のような計画に科学技術者として参加すべきであったか否かについて次のように考えますので、ここに報告いたします。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

地位、金、夢、設備充実、科学者としてのステータス UP

利害関係：

家族、国民（自国、他国）

可能な代替案：

- 1．核爆弾を作り、爆発させ相手国に威かくする。
- 2．負けるより勝つ方がいいから、倒す。
- 3．核爆弾を作ると、他の国を刺激するから悪循環。
- 4．核を持っていない国の恐怖心をあおる。

結論：

反対 しない

理由：

- 1．核爆弾を作ると、他の国を刺激してしまい、悪循環となる。
- 2．核を持っていない国の恐怖心をあおるだけになってしまう。
- 3．平和

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

戦争で使う事を目的としているか。

人道的であるか。

脅威であるか。

戦争抑止となるか。

利害関係：

アメリカは原子爆弾という脅威によって、ロシアを牽制しようとした。

（ロシアに対して外交上優位に立とうとした。）

結論：

不参加である。条件によっては参加。

理由：

- 1．科学技術が発達していく過程で核分裂を利用したエネルギーが発見されるのは必至なので、責任ある立場に国民が組織的に開発した方が乱発されずにすむと思うから。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

知的好奇心、成功、保身、安全、自分自身の生活の保障、社会的地位、社会との契約、人類の一員としての義務、友人

利害関係：

個人、家族、職能集団、人類全体、友人

可能な代替案：

- 1．参加する。人類として戦争を早くやめさせるため。
- 2．参加する。科学者として地位や名誉のため。
- 2．参加する。自分の身の周りの安全の保障のため。

結論：

戦争はあってはならないものなので、早く終わらせるために参加した方がいいという意見が多くでた。

理由：

- 1．戦争はあってはならないものだから。
- 2．科学者として好奇心があったと思い、いろいろな研究ができそうだったから。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

自分の命、家族、民族、国

利害関係：

(害)ナチスドイツ、(利)アメリカ政府、(害)ソ連

可能な代替案：

- 1．参加しない。
- 2．他国を通じての和平交渉。
- 3．他の技術者を説得する。

結論：

当時の背景を考えた上で、参加せざるをえなかったと思われる。

理由：

- 1．戦争を終結させる為には、強大な軍事力を誇示して相手に降伏を迫る他にないため。

2. 相手国が核爆弾を製造しようとしている。という情報がある中では、相手より先に造らなければ敗北してしまう危機感がある為。
3. 参加を拒めば、技術者としての地位が危ういと感じる為。
4. 参加することで世界的に有名かつ優秀な技術者・科学者に会え、非常によい経験になると思える為。
5. 技術者としてその時代の技術開発に携わってみたいという欲求。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

利害関係：

可能な代替案：

結論：

賛成。

理由：

1. 威力のある物をつくりたい。
2. 新しい発覚があるならば、それを利用して何かできるなら科学者は何かをつくりたいだろう。
3. 戦争は早く終わらしたい。  
ナチスから身を守りたい。
4. 研究の環境がよければ研究をやりたくなるものだ。  
(原爆の研究としらなかった人間もいる。)

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

家族、自分、民族

利害関係：

自分自身、身内、同じ民族の人々

原子爆弾によって被害を受ける人々

可能な代替案：

1. 技術者としての地位を向上できる。最先端の研究内容、科学技術の発展という意味で参加する価値がある。
2. 自分自身、家族の身に危険がおよぶのを防ぐためにも参加すべき。
3. 自分や身内の人間と何万人の他人とを比較したとき、自分や身内が優先なので参加すべき。
4. 原子爆弾は大量破壊兵器であり、その結果はわかるはずなのでその開発に参加すべきでない。

結論：

参加すべき。

理由：

- 1．自分自身、親族、同じ民族に危険が及ぶのを防ぐため。
- 2．同じ民族（ユダヤ人）を迫害しているドイツに対する兵器として開発すべき。
- 3．技術者としての地位向上、最先端の研究内容、科学技術を発展させるという意味で、科学者として非常に興味がわくものであるし、参加するだけの価値がある。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

家族、民族、保身

利害関係：

自分、家族、ナチスドイツ

可能な代替案：

結論：

ナチスドイツに対して、けんせい目的で作り、その後ははいきする条件でのみさんかする。

理由：

- 1．自分がユダヤ人であるため、自分や家族、民族をナチスドイツから守るため。
- 2．連合国側がドイツより先に原爆を作る必要があると思うから。
- 3．保身のため。
- 4．ナチスに対するための原爆を作ったとしても、その後、原爆が他の人たちのきょういとなりえるから。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

人命

利害関係：

アメリカとイギリス

可能な代替案：

結論：

参加すべきではない。

理由：

- 1．科学技術は発達するかもしれないが、多くの人の命をうばうかもしれない物を開発するのは良くない。
- 2．結果的にこのような罪のない人々まで命をもうばってしまうこのような兵器ははじめからつくるべきではない。このような兵器はどんどん進化し、地球をも破めつに追いこんでし

まうから。

3. 今、マンハッタン計画で作られた原子爆弾が広島長崎に落とされた事を知っているのに、この計画は反対となるのは当たり前である。もし、この事を知らなかったのなら、参加していたのかというと、そうでもない。核分裂の連鎖反応を見つけたからといい、爆弾を作り、みせつけの為に投下するなどといった事は、周りの人々の事をまったく考えていない。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

知的好奇心、名誉、成功、安全、組織の使命、民族の一員としての義務

利害関係者：

ナチスドイツ、連合軍、人類、ユダヤ人たち

可能な代替案：

結論：

参加する。

理由：

1. 先にドイツに作られたらユダヤ人たちが大量に殺されるから。
2. ユダヤ人（仲間）の大量ぎゃく殺のうらみをはたすため。  
自分たちの安全（保身）のため。
3. 自分の技術をためしてみたい。  
できるかどうか挑戦したい。
4. ナチスによる世界支配をふせぐため。  
ドイツ民族以外はすべてドレイにされるかもしれない。
5. 成功すると名誉とお金が入るから。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

参加すべき

- ・戦争を早く終わらす。
- ・戦争に勝利するため
- ・原子爆弾の恐ろしさをつかい戦争を抑止する。
- ・家族・友人を守るため

否定

- ・危険
- ・死ぬから
- ・人道的ではないため

利害関係者：

国家：使命、義務

家族：安全

職能集団：社会的地位

可能な代替案：

- 1．人間がいなければ、原子爆弾を落としてもよい。

結論：

参加すべきである。

理由：

- 1．戦争を早く終わらせることができるから。
  - 2．研究者として充実した設備研究をおこなえるから。
  - 3．原子力発電所をつくりたい。
- 

代表者：J M

考慮に入れた価値：

自分自身の保身、家族、知的好奇心

利害関係者：

利：科学者たち、連合軍

害：ナチスドイツ

可能な代替案：

- 1．ドイツを牽制するために必要である。
- 2．アメリカに身の安全を保障してもらう。
- 3．恵まれた環境で研究できる。

結論：

賛成

理由：

- 1．ドイツが原爆を作ることができないという情報を知らないので、ドイツより先に原爆を作り、アメリカに有利な状況で戦争を終わらせようとするためである。
  - 2．アメリカに亡命したとしても、世界の情勢は非常に悪いため、原爆開発に参加することで身の安全を保障してもらうため。
  - 3．世界でも優れた科学者が身の周りにおり、また必要な装置もすぐに用意してもらえるという恵まれた環境の中で研究ができるため。
- 

代表者：J M

考慮に入れた価値：

命

利害関係者：

ナチス、アメリカ人、ユダヤ人、日本人

可能な代替案：

- 1．ナチスだけを倒すための兵器を作るべきだ。
- 2．核のかわりに生物兵器を使う。
- 3．悪い人のみに使われるもの（人々を長年にわたって苦しめる人）

結論：

反対です。

理由：

- 1．現代っ子だから。現代の人は、戦争を望んでいない。（争いを好まない）
- 2．人が死ぬから。
- 3．戦争はいけない。
- 4．人を無差別に殺すのは良くない。特定の人だけを殺す方がまだいい。
- 5．人が死ぬだけではなく、放射能の汚染で全ての生物が死ぬから。

---

代表者：J M

考慮に入れた価値：

利害関係者：

可能な代替案：

- 1．核は研究すべきであるが、兵器として絶対に使用しない目的で研究する。
- 2．原爆の投下を一発限りにする。

結論：

マンハッタン計画には参加する。しかし核の兵器としての実施、投下は絶対にしない。

理由：

- 1．投下後の自然への影響が大きすぎるから。
- 2．実際に長崎、広島に投下する必要はない。実験の時の投下の影像。威力を見せつけるだけで充分威嚇にはなる為。
- 3．人の命を奪うという事に私達は責任を取り切れない為。

---

代表者：J M

考慮に入れた価値：

- ・自分の技術を高めるため
- ・自分の身の安全を保障するため
- ・自分の出世

利害関係者：

- ・上層部
- ・家族

可能な代替案：

- 1．威嚇するだけのものにする。
- 2．普通のバクダンのみ使う。

結論：

計画に参加する。

理由：

- 1．身の安全のため参加せざにられない状況におちいってしまうから。
- 2．世の中、お金だけがすべてだから参加する。
- 3．自分の技術の向上のため。
- 4．自分の国の技術の向上のために参加する。
- 5．お国の勝利のため。

---

代表者：S E

考慮に入れた価値：

- 国のため
- 人のため
- 自分のため

利害関係者：

人類全員

可能な代替案：

- 1．和平交渉
- 2．人類滅殺計画
- 3．バトルロワイアル法
- 4．(重要人物の)暗殺
- 5．天下一武道会
- 6．魔界統一トーナメント
- 7．裏武闘殺陣
- 8．春の親子運動会
- 9．アメリカのドラえもん開発計画

結論：

否 75% さんせい 25%

理由：

- 1．ムダな犠牲者がでる。自然、動物などが死に、地球がほろびの道へ行ってしまふ。
- 2．原子爆弾をつくると、自分がたくさんの人々を殺したことになる、自分がいかれてしまい、

自殺しそうです。

3. 後で後悔するから、一生、罪の意識を背負い、科学どころじゃないです。

4. 国に自由をとられる。

国の言うことを聞きつづけなければならなくなる。

5. 原子爆弾の投下は、無抵抗な一般市民を殺りくする無差別攻撃ができる。そのうえ、一発の破壊力はすさまじく、申し分ない。工場や軍事施設を破壊でき、戦意そ失につながる。そして戦争の終結ができ、国をすら滅ぼせる。戦略的兵器としては、最も適していたのではないかと思う。

---

代表者：JM

考慮に入れた価値：

参加する

- ・身を守るため（ドイツから）
- ・予算が使いたいほうだいの研究だから。
- ・自分の好きなことが研究できるから。
- ・自己防えい（身内の安全を守る）

参加しない

- ・かわりたくない。
- ・戦争が嫌い。

利害関係者：

得したこと

- ・強い力をもった。
- ・頭の良い研究者が多いため、その後の技術を高めることができる。

害

- ・犯罪者になった。

可能な代替案：

1. 使用はしないなら参加。
2. 参加してプロジェクトをつぶす。

結論：

参加する。

理由：

1. ドイツが新型爆弾を開発する恐れがあるから、それから身を守るためにこちらでも開発すべきだと思うから。
2. 国家プロジェクトだから予算に心配する必要がなく研究するための環境としては夢のようだから。
3. 政治的主導権を握ったら以後、戦争がおこりにくくなると思うから。
4. アーリア人への復しゅうのため。

---

代表者：J D

考慮に入れた価値：

科学者としての自分（1人の人間としてではなく）  
技術の進歩

利害関係者：

自分・家族・友人

可能な代替案：

結論：

参加する。  
技術の発展を優先しての考えだが。

理由：

1. 歴史に名をきざむ。
2. どの道どこかの国が作る。
3. 科学技術者として参加したい。  
自分の知らない所で自分の扱う分野の技術が進歩するのはいやだから。

---

代表者：J D

考慮に入れた価値：

環境、自分の身分、知識欲

利害関係者：

家族、政府

可能な代替案：

1. 後々反対するにしても、筋の通った論説が必要となるので、実際には参加して、原爆について研究する。
2. 科学者として自己の知識欲を満たすため。
3. 同胞のために参加。
4. 家族や自分の生活のために参加。
- 5.

結論：

参加する。

理由：

1. ジャイアニズム
2. 原爆についてのプロフェッショナルになる。
3. 技術者（科学者）として研究したいので。

#### 4 . 内部攪乱

---

代表者： J D

考慮に入れた価値：

命の尊さ、平和、自国を守る、名誉

利害関係者：

アメリカ国家、家族、個人、対象、友人

可能な代替案：

結論：

参加する。

理由：

- 1 . 国家が進めるプロジェクトに参加することは技術者としてとても名誉なことであるため。
  - 2 . 国家に反対することで、リスクを負うこと考えれば参加した方が良いと思う。
  - 3 . 他人の人命等よりも自国（自分達）を守ること優先。
  - 4 . 国から出た命令にさからうことは無理。
  - 5 . 反対する勇気がない。
- 

代表者： J D

考慮に入れた価値：

科学は価値中立、世界の状況、戦争の終結に向けて、個人の名誉と富、人権的な問題、道徳的な価値

利害関係者：

ナチス（ヒトラー）、科学者、アメリカの資本家、政府、ユダヤ民族、家族、国民、他国

可能な代替案：

- 1 . 参加せずに静観。
- 2 . 原子爆弾以外の兵器を作成する。
- 3 . 国外逃亡。
- 4 . そのままさらに効果的な原子爆弾を作る。
- 5 . 自決。

結論：

自分の民族を守りたい。

自らの命は捨てずともナチスドイツには敵対する。

そのためにはどのような兵器を作ることにも反対はしない。

ゆえに計画には参加しないが、戦争には賛成します。

理由：

- 1．ナチスに自らの民族（ユダヤ）を殺害されたから。
  - 2．自らの命は捨てたくはない。
  - 3．早急に戦争を終結させたいから。  
その方が死傷者は減少するものと思われるゆえ。
  - 4．原子爆弾という手段を使わなくても戦争には勝利できると思うから。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

どれだけ被害を少なくして平和を保てるか。

人の命

利害関係者：

原爆開発者の家族、被爆者、開発国・開発者

可能な代替案：

- 1．話し合いの解決
- 2．核実験公開によるみせしめ

結論：

参加しない。

理由：

- 1．人の命を粗末にはならないし、多くの自然や環境が破壊されるから。
  - 2．大量殺戮兵器を作った者の関係者として、友人や家族の名誉などが傷ついてしまう恐れがある。
  - 3．科学技術を人殺しのために発展させてはならない。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

人としての義務、道徳、科学者の名誉、生命

利害関係者：

家族、民間人、科学者

可能な代替案：

- 1．参加する。そのかわり爆発の威力を上げ、人に害がおよばないようにする。
- 2．参加する。極力話し合いの場をもうけてなるべく原爆の使用を行わないようにもっていく。
- 3．参加する。科学者どうしの話し合いを行い、被害を極限まで小さくした爆弾の開発を行う。
- 4．参加しない。そのかわり自分の家族を守る。
- 5．参加しない。開発中止のデモを起こす。

結論：

参加するが被害は極力避ける様にする。

理由：

- 1．人殺しは行いたくないため。
  - 2．家族に迷惑をかけることはできない。  
また、守りたいため。
  - 3．人殺しの兵器を造りたいとは思わない。
  - 4．原爆の無意味さを訴えたい。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

名誉、自己ぼうえい、当時の戦況、開発への好奇心

利害関係者：

関係者、地球人

可能な代替案：

- 1．スパイをおくりこむ。
- 2．ドイツ側の開発している人をヘッドハンティング。

結論：

参加する。

理由：

- 1．非人道的な行為を批判するため。
  - 2．同じ人種の人々を助けるため。
  - 3．科学者にとってとても魅力的な開発であり、好奇心をくすぐられるから。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

戦争の何らかの兵器の一部になると予想も出来る。

ヒトラー（ドイツ）が自分は憎い。

環境的には最高（好奇心）

戦争（ヒトラー）から逃げたのに、またそれに近づくのは家族がいてはやりにくい。

利害関係者：

家族、アメリカ、敵対する国、ヒトラー、本人、地球環境

可能な代替案：

- 1．ロシアに情報を売る。（技術的なバランスを取る）
- 2．行かない。

### 3. 攻撃はドイツ限定

結論：

行く方向で

理由：

1. 人間の本性として良い環境（家族と安心してらせるような環境）に住みたいと思うから。
2. 誘いを断ると家族ともども危険にさらされる。
3. (ユダヤ人へのはく害を行ったドイツに対し) 目には目を歯には歯を。
4. 戦争を早く終わらせるため。
5. 金とか地位、名誉が欲しい。

---

代表者：J D

考慮に入れた価値：

安全、生活の保障、成功、尊厳、権利

利害関係者：

家族、友人、人類全体、国家

可能な代替案：

1. 原子爆弾以外の兵器の開発
2. 原子爆弾が世界的に大きな悪影響をおよぼさないか検討する。
3. 安全性は良いのか確認する。

結論：

討論して話し合った結果、参加と不参加で意見が別れましたが不参加という結論に至りました。

理由：

1. 原子爆弾1つで多くの命が奪われてしまい、世界中に大きな被害をもたらしてしまうおそろしい兵器だから。
2. 選ばれる事は名誉であるが、その原爆の被害の事で悲しむ場合があるから。
3. 今までの戦争より、被害の規模が大きくなるから。
4. 軍人以外の人々にも大きな恐怖を与えるから。

---

代表者：S Y

考慮に入れた価値：

権威、保身、名誉、使命

利害関係者：

アメリカ合衆国、ユダヤ人

可能な代替案：

1. 核の技術を戦争では使わない。

2. 通常兵器の開発に予算をまわす。

結論：

参加しない。

理由：

1. 非人間的だから。
  2. 科学技術は人類の幸福のために使われるべき。  
科学技術が殺りくになってしまう。
  3. 先が読めないから。  
爆弾のい力が読めない、わからない。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

利害関係者：

家族

可能な代替案：

1. サミット

結論：

参加しない。

理由：

1. 人類を滅亡させる恐れがあるから。
  2. 原子爆弾を使用しないという協定が結ばれても、ドイツの毒ガスのように、戦争には協定など存在しないから。
  3. 戦争に関係のない人が死ぬ。
- 

代表者：J D

考慮に入れた価値：

名声、金、知識を得る、好奇心

利害関係者：

家族、友人、政府、未来の人々

可能な代替案：

1. 造ったとしても使わない。
2. 威圧するためだけ。

結論：

原爆を作る行為には参加してもよいが、しかし、兵器（人を殺す道具）として使用することは

望ましくない。

理由：

- 1．いつかは完成してしまうので、その前に自分たちの手で管理していく方が最善と判断したため。
- 2．戦争を終結させることができると判断したため。
- 3．兵器としてではなく、後々人類の発展に使用されると思ったため。

---

代表者：J D

考慮に入れた価値：

科学者としてのプライド、名声、人道的・道徳的、保守的、自分の身の確保、悪評の嫌

利害関係者：

一般市民、自分の家族、同僚、友人、上司、国

可能な代替案：

- 1．TNT爆弾でなんとかする。
- 2．直接上陸する。
- 3．とりあえず、一発落とす。
- 4．目標はナチス、ドイツでドイツが負けた時点で中止。
- 5．ドイツの研究所に直接落とす。

結論：

参加はしない。

理由：

- 1．研究前の時点で強力な兵器になるとわかっていたから。
- 2．身の回りのものをなくしたくない。
- 3．軍が嫌い。
- 4．兵器による環境破壊をしたくない。(放射能など...)